

福岡教育大学生協 学生委員会・アドバイザーのSNS運用

第022号
(通算455号)



[広報]

取り組み概要

日時：通年
場所：Twitter・Instagram
参加者数や組合員の反応：Twitterのメインアカウントはフォロワー数1000人を超え、多くの福教大生と繋がっている。

背景や概要：学生委員会は元々TwitterとInstagramの公式アカウントを1つずつ所有していたが、さらにこの春から新入生向けのアカウントを新たに立ち上げ、より早く正確な情報発信を行ってきた。

活発なSNS運用で組合員に情報をお届け！

POINT.1

複数アカウントの上手な使い分け



もとは学生委員会のTwitterアカウント1つで生協の営業に関する案内や防災情報などの日常的な組合員への情報発信などを行っていました。フォロワー数も多く、組合員にとって重要な情報源になっていました。しかし、2020年度からは新たにInstagramのアカウントを開設し、さらに2021年度新学期にはTwitter・Instagram両方でアドバイザー兼学生委員会のアカウントとして**新入生向けの情報発信に特化したアカウント**も発足し、サポートセンターや新歓企画の案内などを積極的に行っていました！情報の混在を防ぎつつ、**伝えたい相手に伝えたい内容を届ける工夫**ができていました！

POINT.2

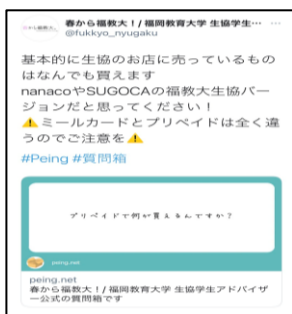
高い更新頻度と素早い情報発信！

Twitter・Instagram合わせて4つのアカウントがありますが、どのアカウントも更新頻度が高く、刻一刻と**変化する組合員の生活状況に合わせた発信**を行っていました。大学生協でのイベント告知はもちろん、日常的な情報発信も行い、組合員がリアルタイムに必要な情報を得ることができるようになっていました。新学期時期はさらに更新頻度がアップし、新入生に向けた発信も多く行ったことでコロナ禍でも変わらず**大学生活スタートのサポート**ができていました！活発な活動で学生委員会の存在感も大きなものとなってました。



POINT.3

組合員との相互コミュニケーション！



Twitterでは質問箱を設置し、組合員からの質問に逐一回答していました！大学生協に関してや大学生活に関して、授業についてなど様々な質問が寄せられ、一つ一つに真摯に回答していました。ただ発信するだけでなく**組合員の声を聞きながら**それに合わせた発信を行っている点が魅力的ですね！さらに学委では答えられない質問も大学のどこに聞きに行けばよいのか示すことで組合員のニーズにしっかりと答えることができていました！

つながる元気、ときめきキャンパス。



ご質問や[QBK NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [進藤 景太]
Shindo.Keita@univ.coop